

関東森林管理局入札等監視委員会審議概要

(Webサイト掲載日: 令和4年7月21日)

開催日及び場所		令和4年7月7日(木) 関東森林管理局 2階大会議室		
委員		武藤 善行(公認会計士) 後藤 充隆(弁護士) 御山 まゆみ(ジャーナリスト)		
審議対象期間		令和3年10月1日 ~ 令和4年3月31日		
審議対象案件		242件	うち、1者応札案件 103件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
抽出案件		5件 (抽出率 2.1%)	うち、1者応札案件 4件 (抽出率 3.9%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
抽出案件内訳	工事	一般競争	2件	うち 1者応札 2件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		指名競争	公募型指名競争	該当なし
			工事希望型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
	随意契約	0件		
	業務	一般競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		指名競争	公募型競争	該当なし
			簡易公募型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約	公募型プロポーザル	該当なし
			簡易公募型プロポーザル	該当なし
			標準型プロポーザル	該当なし
	その他の随意契約		0件	
	物品・役務等	一般競争	2件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		指名競争	該当なし	
随意契約(企画競争・公募)		該当なし		
随意契約(その他)		0件		
(特記事項) 1者応札の案件又は随意契約となった案件を抽出して審議				
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答等	
	○ 工事契約について、落札率が非常に高い数字となっている案件が多いが、原因は何か。		積算に使用される資材単価や歩掛は一般に公表されており、事業者が見積る価格と発注者側が積算する予定価格が非常に近い価格となったと考えられる。	
	○ (N042その他役務(造林)入札参加資格要件がA・B・C・Dの4区分となっており、他の工事などとは異なって広く設定されているが、入札参加資格要件はどのように決定しているのか。		本件は、工事やコンサルタント業務と異なり、作業時期が限定される造林事業であり、また、事業量も大きいことから、対応可能な事業者が少数となる可能性も想定されたことから、広く応札者を集めて、確実に契約を締結し事業を進めたいという観点から入札参加資格要件を広げた。過去の入札実績等から十分な競争参加者が見込めない場合には、署長判断で拡大することは、制度上認められている。通常は発注規模に応じた等級の直近上下の等級を加えた3区分等級とすることが多い。	
	○(K014事業業務委託(有害鳥獣(ニホンジカ)誘引捕獲委託))落札率が低くなっているが、事業実行の確実性や、安全性を確保できるのか。		当該事業については、近年急激に事業者が増えてきている中で、競争原理が働いたため落札率が低くなったと思われる。確実な事業の確保については、監督職員が行う捕獲頭数や実行写真管理等による進捗状況の確認を徹底し、安全の確保を含め事業の実効性を確保していく。	
○(K014事業業務委託(有害鳥獣(ニホンジカ)誘引捕獲委託))落札者が入札日の翌日から指名停止期間となっているが、偶然か。		当該委託事業に係る入札参加資格確認申請期間は令和4年2月9日~令和4年3月8日までとなっており、指名停止前に資格審査手続きを終えている。また、開札時点においても指名停止は受けておらず、結果的に落札業者の指名停止期間開始日と契約日が同日となったが、手続に問題はない。		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし			

関東森林管理局入札等監視委員会苦情処理会議審議概要

開催日及び場所	令和4年7月7日(木) 関東森林管理局2階大会議室			
委員	武藤 善行(公認会計士) 後藤 充隆(弁護士) 御山 まゆみ(ジャーナリスト)			
再苦情申立概要	申立日	件名	契約方式	契約月日
	・			・
	内容等 該当なし			
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答	
委員会による意見の具申又は勧告の内容				